

あしや子ども風土記

# 歴史さんぽ ⑤

## 芦屋川にそって

芦屋川は、市内でもっとも大きい川で長さが六キロメートルあまりです。地図を見ますと、その源は、芦屋の北西の六甲山地で、西宮市との境にある白山石宝殿あたりにあって、芦屋川本谷を南に流れ、奥山の石仏谷や黒越谷などの谷水を合わせ、水東谷を過ぎ、高座川と合流して川幅が広くなり、阪急芦屋川駅付近からますます南の芦屋の海に流れ込んでいます。川には九つの橋がかかっています。

芦屋川は、むかしから人々の暮らしに、多くの影響を与えてきました。だから、芦屋川にそって北へたどって行くと、芦屋の歴史や伝説などの跡がいくつも残っていて、そのころの人々の暮らしの様子を知るきっかけになるかもしれません。



開設されて間もないころの阪神芦屋駅(明治38年ころ)



芦屋川を渡る阪神電車(大正4年ころ)

阪神電車は、明治三十八年に梅田・三宮間に開通しました。開通とともに、芦屋の駅が設けられました。

そのころ、芦屋駅の近くには、芦屋川に沿って芦屋遊園地があり、山手近くまで白い砂地と松林が広がり、自然の美しい景色が続いていました。

きれいな一両電車の走るのが珍しく、人びとは駅の近くまで、弁当を持って見物に集まりました。線路にそって南の方には家も少なく、いくつかの倉庫が建っているだけで、夜になると駅の近くに電気がポツンとついていましたが、それでも明るく感じました。電灯が家に引かれるようになったのは、電車が開通して三年たつてからでした。そのころの芦屋の家の数が七百六十二戸に対して、電灯の数は、たった八十七灯でした。それが数年後には、三千灯に増えたのです。

電車の様子を伝える新聞には、「レールは汽車より幅が広いが、乗ってみると、ゆれ動くようすが汽車より強く感じる」と書かれています。

ノート 明治時代の人々は、外国から文化の輸入に努めた。交通機関として最初の電車は、明治二十八年(一九九五)に、京都市の七条・二条間の開通であった。阪神電車の開通は、明治三十八年(一九〇五)四月、大阪出入橋と神戸三宮間であった。参考文献 『沿線名所案内』 阪神電気鉄道 『阪神沿線誌』 摂津日日新聞社

●平成五年発行の「あしや子ども風土記 歴史さんぽ」を紹介しています。

## シリーズあしや子ども風土記

■「あしや子ども風土記」を美術博物館・市役所売店で販売しています。  
 ※第1集「伝記・物語」・第2集「歴史さんぽ」・第3集「植物のかんさつ」・第4集「小さな生きものたち」・第5集「文学さんぽ」と第9集「写真で見る芦屋今むかし2」は各冊400円。第6集「芦屋の地名をさぐる」・第8集「描かれた芦屋の風景」は各500円。  
 ※第7集「写真で見る芦屋今むかし1」は完売しました。



問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

## 男女共同参画社会づくりセミナー

～ええもんつくろ!!「あしや男女共生条例(仮)」～  
 問い合わせ 男女共同参画センター ☎38-2023/FAX38-2175  
 (〒659-0092 大原町2-6 ラ・モール芦屋2階)

私たちのまち“芦屋”で、みんなが生き生きと暮らすための「条例」づくりに向けて、『男女共生』について一緒に考えてみませんか。積極的なご参加をお待ちします。

■日時・内容 5月15日(木)午後2時～4時・講演「男女共同参画社会づくりに向けて」/ 29日(木) 6月12日(木) 26日(木)午後2時～4時・ワークショップ「わたしのまち“あしや”の男女共生」/ 7月10日(木)午後2時～4時・発表とまとめ

■会場 男女共同参画センター(ウィザスあしや) ■講師 ①女性と仕事研究所代表・金谷千恵子氏 / 女性と子どものエンパワメント関西・井山里美氏 / 神戸女学院大学名誉教授・高島進子氏 ■対象 市内在住・在勤・在学のかた、先着20人 ■一時保育 2歳以上就学前幼児、先着8人。1人1回300円<要予約>。子どもの名前、生年月日を5月8日(木)までに上記へ ■申し込み セミナー名・住所・氏名・電話(ファクス)番号を記入し、はがき・電話・ファクスまたは上記窓口へ

## 谷崎潤一郎記念館の催し

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/FAX38-3244  
 Eメール ashia-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp

【文学館講座】 作家と楽しむ読書会  
 ■日時 4月24日(木)午前10時30分～正午 ■会場 講義室 ■内容 柳谷郁子著「風の紋章」の背景・作家の心情など ■講師 作家・柳谷郁子氏 ■定員 20人 ■受講料 2,300円(コーヒー付) ■申し込み 電話・ファクス・Eメールで上記へ

【文学講座】 たつみ都志の文学に見る男と女  
 ■日時 4月24日(木)午後2時～3時30分 ■会場 講義室 ■内容 谷崎潤一郎著「夢喰ふ蟲」。名作にみる男と女それぞれの思いとその立場等、退屈な人生・理想の夫婦について ■講師 武庫川女子大学文学部教授・たつみ都志氏 ■定員 24人 ■受講料 2,500円(コーヒー付) ■申し込み 電話・ファクス・Eメールで上記へ

【雑学講座】 日曜 男の雑学塾 歴史散歩「会下山遺跡周辺」  
 ■日時 4月27日(日)午前10時～午後1時30分 ■集合 午前10時、阪急芦屋川駅北側広場 ■行き先 会下山遺跡周辺 谷崎潤一郎記念館(昼食) ■講師 本願寺史料研究所学芸員・和田秀寿氏 ■定員 24人 ■受講料 4,000円(田舎の昼ごはん代含む) ■申し込み 電話・ファクス・Eメールで上記へ

【特別企画】 女性の品格・美しく生きるために  
 ■日時 5月9日(金) 18日(日) 6月5日(木)午前10時30分～午後2時 ■内容 各分野の第一線で活躍している女性3人(二木榮海氏・コシノヒロコ氏・井植豊子氏)の、芦屋での住まい・アトリエ等を訪ね、お話を伺います(全行程貸切バス利用)。昼食 クロ・ド・ヴィラ芦屋山手倶楽部 ペルポート芦屋イグレック エル・ル・カルフル ■定員 各回25人 ■受講料 1回13,000円、3回分35,000円(昼食代含む) ■申し込み 電話・ファクス・Eメールで上記へ

【特別展】 谷崎潤一郎と画家たち ～作品を彩る挿絵と装丁～  
 ■日時 3月28日～6月29日<月曜休館>午前10時～午後5時 ■内容 谷崎作品の世界と画家との関連を、写真・書籍・書簡・画家たちの作品で紹介 ■入館料 300円

## 春のアートフリーマーケット「手しごとの温度」

■日時 5月3日(土・祝)・4日(日・祝)午前10時～午後5時<雨天中止>  
 ■会場 美術博物館前庭(彫刻広場)  
 ■内容 創作作品を作者から直接購入できるフリーマーケット約60店が出店  
 【同時開催】 秘密のコレクションー上羅芝山・ブルデル・山田皓斎ほかー(2階) 小出植重とあしやの歴史資料(1階)  
 【観覧料】 一般300(240)円、大高生200(160)円、中学生以下無料  
 \*( )内は20人以上の団体料金  
 5月3日・4日は、1階フロアに限り無料。2階展示は、要観覧料。  
 問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

## サラ金・クレジット問題でお悩みの方 広告

債務整理の方法は自己破産だけではありません。  
 例えば「任意整理」という方法は、取引が5年以上あれば、借金がかかり減額できる可能性があり、場合によってはお金が戻ってくる場合があります(過払金)。また、**完済されている方でも過払金が生じていることがありますので、完済から10年たっていない方はぜひご相談下さい。**

### 費用分割可

認定司法書士に債務整理を委任すると、業者から本人への取立は止まりますのでご安心下さい。

## 甲東園法務司法書士事務所

完全電話予約制 **0798-54-3259** ■電話受付時間：平日9時～20時

阪急今津線甲東園駅徒歩2分 / コインパーキング(有料)が近くにあります。

## 「芦屋シティグラフ」発売!

「芦屋シティグラフ」(A4判・52ページ/全カラー刷り)を発行しました。  
 芦屋の自然や歴史、芦屋ゆかりの芸術・文学・文化。それらにふれつつ散歩を楽しめるコースの紹介、行政の動きや統計、また市内の医療機関一覧(地図)などの情報を、写真170点のほかイラストや地図とともにわかりやすく掲載しています。「芦屋シティグラフ」は、次の2カ所で販売しています。ご利用ください。  
 ■発売場所 市役所行政情報コーナー・ラポルテ市民サービスコーナー ■定価 300円

問い合わせ 広報課 ☎38-2006

